

完了と有償配付の申し込み状況についてその現状が報告された。

2. NCF800H 合金の高温疲労に関する一実験結果について(講演) 金材技研金沢委員から資料をもとに試験結果が報告された。

3. 共同研究方案(案)について

高温熱疲労試験共同研究に関するアンケート回答集計をもとに幹事側でまとめた実験内容(案)をもとに審議が行われた。供試材および試験分担について委員の意見を求められできるだけ多くの参加が得られるよう改めることが了承された。

その他に、参考として溶接学会および材料学会における低サイクル疲労試験方法(案)が配付された。

材料研究委員会

第 47 回委員会 開催日: 10月14日. 出席者: 大橋委員長, ほか 13 名 開催地: 三菱製鋼

1. 工場見学 ばね(板及び巻)工場の見学

2. 研究発表

(1) Fe-Ni-Mn 合金の時効硬化に及ぼす Mo の影響

(2) SAE9254 鋼のばね特性について

(3) The Effect of Aluminum Content on the Mechanical and Metallurgical Properties of 18Mn 5Cr Rings

(4) 大入熱溶接低温用鋼の継手靱性改善の基本検討

ISO/TC17 事務局運営委員会

第 11 回委員会 開催日: 9月1日. 出席者: 石原委員長, ほか 14 名.

下記事項について報告・審議が行われた。

1. 専門諮問部会活動報告 TC17 東京総会を控え本年は 2, 4, 7 月に開催され状況が青木委員より報告された。

2. TC17 組織委員会報告 堀川委員(組織委員長)より, 過去 3 回の同委員会の開催により東京総会の準備がほぼ整った旨報告があり, 次いで丸岡委員(実行委員長)より実行予算詳細を含めて総会実行計画詳細が報告された。

3. 上期予算実行中間報告 事務局より予算実行状況につきほぼ予定どおりで問題ない旨報告され承認された。

4. ISO 関係事務局組織について 協会内で別組織としている TC17 と SCI 事務局につき予算面(分担金, 補助金面), 事務局員ローテーション等につき問題提起があり次回運営委で討議することとなった。

鉄鋼基礎共同研究会

第 1 回鉄鋼の環境強度部会 開催日: 10月15日. 出席者: 駒井部会長, ほか 23 名 開催地: 協会会議室, 経団連「穂高の間」

1. 部会長挨拶

2. 海洋環境下の鉄鋼の環境強度試験条件に関するアンケート収集結果報告

3. 海洋環境下の鉄鋼の環境強度試験の実施状況アンケート収集結果の報告

4. 共通試験条件の検討

5. 今後 1 年間の活動スケジュール

(1) 部会年 4 回(東京 2 回, 新居浜 1 回, 仙台 1 回)

(2) 幹事会年回 2 (東京)

(N194 ページよりつづく)

林 清 造	藤 卷 正 憲	渡 辺 薫	外国会員	(昭和 57 年 7 月)	Aparecida S/A
馬 場 利 治	松 島 順	死亡退会	(昭和 57 年 6 月)	入 会	退 会
樋 口 允 宏	山 中 昇	御冥福をお祈り申	入 会	Young Gil Kim	徐 錫 亮
福 留 富 治	山 家 進	上げます。	Rau Mann-Fu	B. J. Drakalijski	
福 留 信 夫	吉 野 宗 光	中 山 友 秀		Siderurgica N. S.	